
氷と眠と幻想郷と。

あるばか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

氷と眠と幻想郷と。

【コード】

N0901Z

【作者名】

あるぱか

【あらすじ】

周りには真つ赤に燃える火とか火とか火。死ぬことを覚悟したが、「生きたい」の一言のせいか、目が覚めたら森の中。あと色々おかししい。

この作品には駄文、キャラ崩壊、厨二病、その他諸々含まれていません。作者はニコ厨です。

てめえなんか大嫌いだぜ！という方は即シャットダウン、別にいいんじゃない？という方はお読み下さい。

1話 炎に包まれて。

oooooooooooooooooooo

目を開けると、飛び込んでくるのは真っ赤な火。

天井の部分が崩れ、道を阻む。

やろつと思えばいけるのかもしれないが、火のせいで通れない。

殆どの人なら慌てだすだろう。

でも自分は、まだあるスペースに横になり、

ゆっくり、ゆっくり目を閉じる。

髪の毛が燃えた。

足が熱い。

手の皮膚が溶けそうだ。

カラだ、ゼンタい、アツイ。

あつい、アつい、アツイ、アツイ。

アア…もう、

「死ぬのか。」

体が火に包まれ、

皮膚は焦げて真っ黒になり、

髪の毛は一つも無くなり、

目から涙を流し、

「まだ生きたい。生きたかった。」

最後のお願いです。

どうか叶えてください。

意識がぶつんと無くなった。

目が覚めた。
何故生きてるし。

視線が低い。

横になっっているからかもしれない。

周り木や草だらけ。

近くの公園に倒れてるだけじゃない？

でも、自分の知ってる公園じゃない。

これは森だ。

……どづしどづし……

1話 炎に包まれて。（後書き）

初めまして、あるばかと申します。

この小説を読む人がいるのかとドキドキしてます。

超 初心者なのでアドバイスや感想をくれると飛び跳ねて喜びます。
この作品は、幻想郷ができて何年かしたら他の原作とクロスしたい
と思います。

今後よろしくお願いします。

2 話目 涙を流す。(前書き)

休日は適当な時間に投稿すると思いますが、平日は4〜5時くらいに投稿すると思います。(土、火は塾があるので遅れます)とりあえず頑張ります。

2話目 涙を流す。

さっきも聞いたと思うけど、
視線が低いんだ。

横になってないし、そこにあつた岩より自分小さいし。

飛び跳ねても届かないし。

なんなんだよう…。

後で姿確認しないとなあ…。

そういえば、なんで自分はここにいるんだっけ。

思い出そうと、必死に記憶を辿る。

真っ赤な炎に包まれた自分。

そしてここに居る自分。

「うあああ……う、う、う……」

ぼろぼろ涙がこぼれ落ちる。

神様でも、仏様でも、もしかしたら一般人が叶えてくれたのか。

そんなのどうでもいい。

生きてることが嬉しくて、つい涙を流した。

…が、流れた涙が小さい氷となって砕けている。

涙を拭きつつ、何故だろうと思う。

つかそろそろ体がどうなっているか見たい。

森の中を彷徨い歩き、25分以上かかって湖に。

いやあ、歩くの大変だった。

途中で如何にも「食べたそうにこちらを見ている」という目で追いかけてきて、茂みに隠れたらどっかいった。

また死ぬかと思った…。

過ぎたことだし今は体確認だ！

ひょいっと湖を覗く。

「……………なんじゃこりゃああああああああああああああああああああ

あああああ……！！！！！！」

そこには銀色のハリネズミが居ました。まる。

2話目 涙を流す。(後書き)

…なんで涙拭けるの？とっつしんっはなこの方向で。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0901z/>

氷と眠と幻想郷と。

2011年12月4日00時51分発行